

清掃センター休止中の ごみの出し方

元町の清掃センター（ごみ焼却場）は改修工事に入るため、9月1日からごみの焼却を休止します。休止に伴い、次のとおりご協力をお願いします。

※広報くずまき8月号、10ページ参照

■清掃センターに、ごみの搬入はできません。

※「資源ごみ」と「不燃ごみ」については、リサイクルセンター（上平）で搬入を受け付けます。

■9月21日(月)～23日(水)の祝日は、「燃えるごみ」の収集を行いませんので、集積所に出さないようお願いします。

※「資源ごみ」と「不燃ごみ」については、通常どおり収集します。

ご不明な点は、農林環境エネルギー課（☎66-2111 内線143）へお問い合わせください。

今年度から毎年9月に 保育料の切り替え

4月に「子ども・子育て支援新制度」が始まったことにより、今年度から毎年9月に保育料が切り替わることになりました。

8月までは前年度の町民税額で保育料を算定し、9月以降は今年度の町民税額で算定します。

ご不明な点は、教育委員会（☎66-2111 内線277）へお問い合わせください。

前年度の町民税額に基づく保育料

今年度の町民税額に基づく保育料

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

町商工会青年部（山口崇部長、部員36人）主催の「くずまき夏まつり」は8月16日、葛巻小学校グラウンドで行われ、帰省中の家族連れなど約1600人が葛巻の夏を楽しみました。

開会セレモニーで山口部長が「ふるさと葛巻の夏まつり、感謝と感動あふれる時間にした」とあいさつ。鈴木重男町長が葛巻町60周年を記念して製作した「くずまき浴衣」を紹介しながら「このまつりが永続発展することを祈念します」と祝辞を述べました。会場にはたくさんさんの屋台が立ち並び、ステージでは葛巻

くずまき夏まつり



1,500発の花火が夜空を鮮やかに彩る

保育園児がかわいらしい演技を披露。多くの町民が「くずまき浴衣」で来場し、会場の雰囲気盛り上げたほか、「学びレッジ」の屋台では、小学生11人が元気いっぱい販売体験に励みました。

盆踊り大会は3周したところで雨が降り出し、途中で中止に。雨が降る中行われた花火大会は、葛巻町60周年を記念し、例年の1.5倍に当たる約1500発が打ち上げられ、会場から大きな拍手と歓声が沸き上がりました。

同まつりは、町内約1900の事業所などからの協賛金により開催され、また、今年は葛巻町60周年を記念し、町が60万円を助成しました。



▲開会セレモニーで「くずまき浴衣」を紹介する鈴木町長。白と赤の2色はミルクとワインをイメージ。白い3本ラインは、葛巻町、江刈村、田部村の3町村の合併を表現するとともに馬淵川の穏やかな流れをイメージしたもの



▼盆踊りを先導し、力強い太鼓を響かせたナニヤドヤラ葛巻愛好会と茶屋場の太鼓衆。雨が降り出し、残念ながら途中で中止に



1参加者みんなで協力しサクラを植樹 2木工工作で小物入れが完成。「上手にできたよ！」 3キャンプファイヤーでヨサコイを披露する葛巻地区森林愛護少年団 4オリエンテーリングのチェックポイントでノコギリを使って丸太切りに挑戦する子どもたち

葛巻の森へようこそ！ 緑豊かな自然を満喫

首都圏の子どもたちが木材利用の重要性学ぶ

アウトオブキッズニア Out of KidZania 林業体験

子どもたちが森林の中で学び、体験する「アウトオブキッズニア林業体験」は8月6日から8日まで、くずまき高原牧場やこいわの森などで行われ、首都圏の児童生徒24人と葛巻小の児童11人が参加しました。

子どもが職業体験できる人気テーマパーク「キッズニア東京」と環境NPOオフィス町内会（ともに東京都）が主催し、町森林組合が全面的に協力。今年で5回目の開催となります。「木を切って使うことは、健康な森づくりに必要なこと」をテーマに、子どもたちは間伐や被災地に届ける薪の収穫などの作業を体験。木材を積極的に使うことの重要性を学び、共同作業で交流を深めました。

2年連続で参加した東京都の菊地唯人君（富士小5年）は「作業は大変だったけど、森が明るくなった」と間伐の効果を実感。八木萌香さん（葛巻小6年）は「3日間一緒に活動し、都会の友達がいっぱいできた」と笑顔を見せました。

260人の子どもたちが元気いっぱい活動

第47回県緑の少年団大会

緑を愛し育てる豊かな心を持つ子どもの育成を目的に、第47回県緑の少年団大会が7月28日、29日の2日間、くずまき高原牧場で開催されました。

県内から森林愛護少年団20団体、約260人が参加。当町からは、小屋瀬小と小屋瀬中の児童生徒が所属する葛巻地区森林愛護少年団15人が参加しました。

開会式で県緑の少年団連盟の古川智之副会長が「元気にいっぱい活動し、森の元気を海まで届けよう」とあいさつ。葛巻義美副町長が「牧場の大自然の中で貴重な体験をし、心豊かに成長することを期待しています」と歓迎のことばを述べました。

大会開催と葛巻町60周年を記念してサクラ5本が植樹されたほか、参加者らは木工工作やキャンプファイヤー、オリエンテーリングなど、共同生活を通じて友情を深めました。

子どもたちは牧場の大自然を肌で感じ、森林を守り育てていくことの大切さを再確認しました。

自然や森林の大切さ再確認

いさつ。葛巻義美副町長が「牧場の大自然の中で貴重な体験をし、心豊かに成長することを期待しています」と歓迎のことばを述べました。

大会開催と葛巻町60周年を記念してサクラ5本が植樹されたほか、参加者らは木工工作やキャンプファイヤー、オリエンテーリングなど、共同生活を通じて友情を深めました。

子どもたちは牧場の大自然を肌で感じ、森林を守り育てていくことの大切さを再確認しました。



▲間伐作業を体験する子どもたち。ノコギリを使った作業に悪戦苦闘

▶伐採した木を30センチの長さに切りそろえた後、きれいに薪積みする子どもたち

